

兩都妓品

史	西
林	都
殘	妓
花	品

1553



合刻兩都妓品序

是歲九月之望游戲主人新擇兩

都妓品為之圖以贈且屬予為序

予曰大人先生其後以老於漂遊

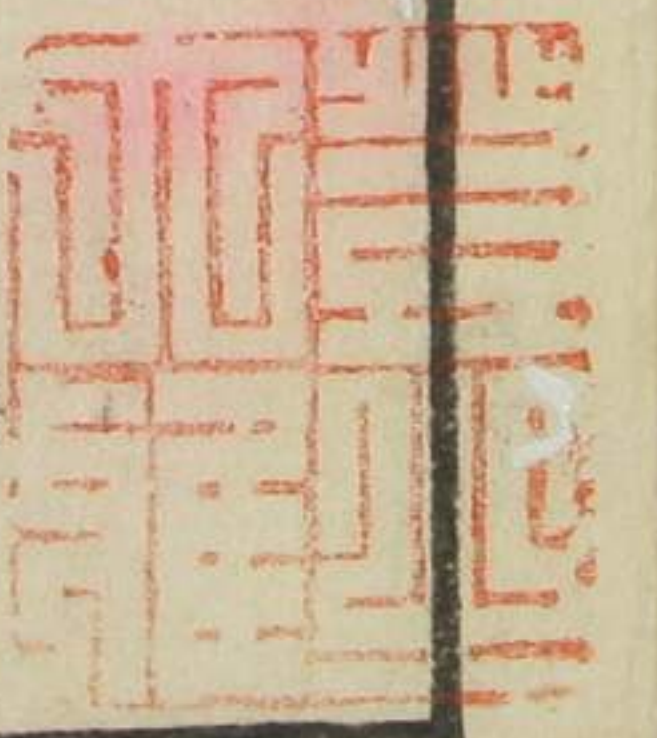
名當時其所請不於彼而於此每

合刻兩都妓品序

遊戲堂

如孝
玉泉文庫

76
1553
7改



乃好奇之過乎因辭游戲主人屢
 請不已於是篝燈信筆記其歲月
 以塞其責而已

癸丑之秋烟蘿館主人題



新刻西都妓品 附方言

妓年高者曰蒼妓年少者曰騶從
 妓中女曰香兒老婆曰鴉子妓始
 薦寢席曰上頭妓始相遭曰梳櫛
 妓欺客曰騙買妓者曰漂客客耐

新刻西都妓品附方言

遊戲堂

久者曰慣熟人。馴染客。只有一情人。
客捨此而適彼。曰跳槽。稱富客。曰
孤老表子。稱愚客。曰投人。稱貧客。
曰秋風客。食客。後老官者。曰牽頭。
又曰幫閑。

序

史林殘花出矣。不知何人作也。願其為書。
原本曰。妓史。益有本紀。有世家。有傳。有志。凡
可千卷。皆亡滅。而不存。僅有淵井世家。一卷。
地理。藝文。律曆。志之存。惜哉。因其所存者。
以推其所不存者。則實良史。而見班馬。

史林殘花序

遊茂

於伯仲之間者也。世滂倍字。方言。里謠新。奇。不胡不亂。極入人物。評盡風土之變。天下不可。以無此書。而不可。以無此筆。不情太。鼓而上。氣。天下。心。不使。一步。而。正。月。世界。之。目。其。叙。地理。也。賣。薇。字。先。著。眼。舉。藝。文。也。俗。方。言。最。捧。腹。律。曆。志。月。令。之。目。其。採。歌。也。

非。盡。心。焉。其。揚。事。也。皆。有。據。焉。本。紀。之。題。目。世家。列。傳。之。隲。品。亦。不。為。不。精。矣。陶。井。世。家。蓋。馬。史。之。伯。夷。傳。乎。史。之。筆。而。不。拘。於。史。筆。但。其。贊。之。每。以。過。當。其。然。豈。其。然。乎。冬。之。夜。曼。燭。之。跋。見。廢。卷。就。枕。鼻。息。漸。息。周。化。為。蝶。我。化。為。牛。忽。至。某。國。之。姑。於。此。上。葛。於。彼。能。

史林殘花序

述唐堂

見其手練之巧。能聞其胸算之如。全盛則春
之花。花散而不止。遺練則臘之日。拂而又生。
指切之血。味乾而口。澆之淚如雨。忘水上昔。
痛嘆身揚之。今苦足袋之掛。猶存鼻紙之適。
味俯呼落而客。不來遺文而丈。不届鼠曳一
筋之手。細猫喫之味。之胸懸揚屋若者。朝

二 邊唐堂

擺屋而遣手下嫁。夕之叩手。歸深編笠怪山。
手客之身。窄迴指。紙威屋形者。之頭勝痛哉。
悲哉。月者播露於粉。慕天水者。打鉤於風流。
陣左一刑。而花鳥餘情。託於橫谷。金次刺而。
大藏遺物。運於窟所。俱歸於鍛冶屋之貧之。
小吉風流。空鎖於晒布。簞筭之。四小大交月。

文林殘花序

遊我堂

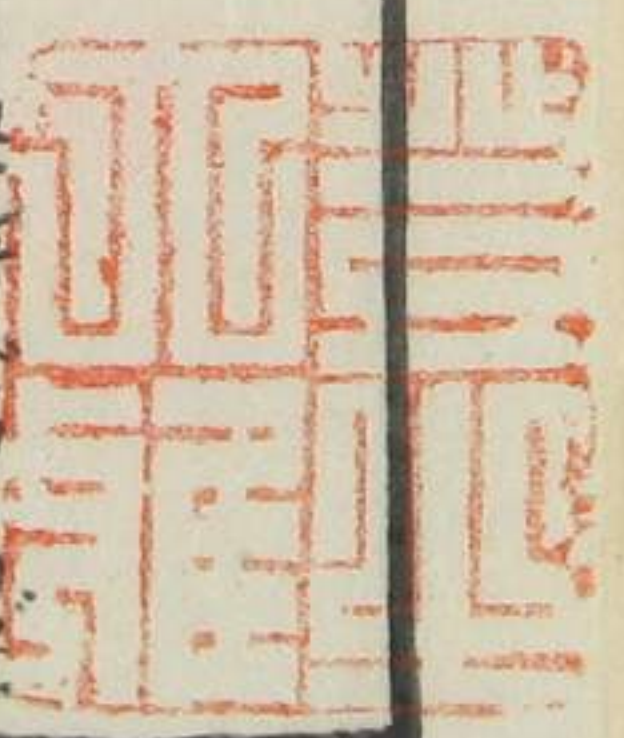
水遂塊於味嚼撞棒之先則賣之必落於市
人之膝下耳及傾時寂而夜鷹揚散茶冷而
陰馬逸則豈特此里之式微而已哉抑亦世
中之變態也思之此類寤寐有標最早老婆
之茶飲時也乃次第其言以書卷端云

史林殘花序

我登待乳山而有小天下之志飄乎御風
彼一葦之所如武藏下總之間有大河昔男
之墮淚也秋水渺々焉接雲大虛茫々而墜
地大橋跨空推木在右牛島民戶駒形市鑿
寂寞與繁華易地懸舟於一橋之下片是今

史林殘花序

史林殘花序



三 史林殘花序

戸橋也。淺草寺之鐘破耳。焦心六瓦屋之煙。
 有物漂於中流。視之一函。而啓之。則一書也。
 題曰妓史。初喜其奇書。中嘆其奇遇。終痛其
 低滅。紙腐墨渝。煥見千餘字之文而已。不忍
 弃捐。拾撫記之。不知何人。述作。固知良史
 之材。見祖馬於伯仲之間。嗚呼。全書不存。我

廢卷一大息矣。若有博雅君子。編修國史。則
 庶幾小補乎。蓬底吹燈。筆之我者。誰也。不知
 何許人也。不洋其姓字。命編曰史林殘花。誰
 不探史林之春。誰不尋史林之花乎。以為之
 序。

地理志

聖門之徒有司馬牛者乘桴浮海東海之東
 有東武國其北隅有古原固是遊君子國
 也也。此稱君子國。司馬牛相其攸也。此其居
 孫子世也。成一都邑義不食東夷之粟賣
 薇而為業其國薇與女陰。故其國到今稱
 之通稱音假用。

賣妓之長曰嚮蓋取義於司馬之姓也。稱
 賣妓之奴曰牛是亦取義於司馬氏之名
 也。其妓有大夫格子山茶梅茶等之品其
 價有三十七。二十六。十五。五。三錢之差。山
 茶梅茶者野也。大夫格子者文質彬彬也。
 或為悅己者切髮入黑子。吳國斷髮文身

史林殘花

遊戎堂

之餘風乎。先賢政清，所謂切髮切指入黑子。與祿之習氣者。妓女稱是也。

日本隄 國門之外曰之日本隄。長路漫。

水田漠。縮隋帝之隄于此乎。士農工商。貴賤貧富皆出於其路。傾編笠被羽織。鼻吟小歌。手抱細杖。隄上一町有一亭。戍卒

深夜擊柝送客。曰之送拍子水。春曙過之。則長天餘霞遠。花一片山。歸雁兩三箇。夏夕望之。則涼風可入。蛙聲喚誰飛。螢隨風。高下不定。所視所聽。恰如畫圖。秋夜者。殘月一痕。平野無人。鐘磬之聲。隱隱隔林。冬晨者。風雪滿堤。玉龍臥雲。烟鷓鳥下。自無

情者觀之。則風物信美也。自有情者觀之。則無不從淚。無不驚心矣。

衣紋坂 國門之外。有衣紋坂。嫖客整襟刷

裳之地也。

大門 國門曰之大門。無日無夜。士卒成之

也。戈戟森。燈炬耿。班超所謂願生入

玉門關者。疑指此地乎。陰翳。不入此關。

則不更語。男子也。

中門 國中有正路。商賈成市。繁華都會也。

詩人所詠。周道如砥。蓋此謂乎。人而不可

不由此正路矣。

伏見町 境町 河岸 本町 河岸 皆邊鄙之

史林殘花

存

地也。人物不足論焉。土地有臭氣。人皆掩鼻而過之。

江戸町 二町目 角町 新町 京町

人物噪雜。三絃聒耳。一節成文。真是人間歌吹海也。此海也。湍溺者多矣。樂天巫峽之水。是安流者。豈他求哉。往欽哉。往欽哉。

揚屋町 王者之都也。人物不野。不文。外無

曠夫。內無怨女。聖王仁者之遺風。餘流乎。客衆爭色。女膺閩美。風流花陣之戰場。有不戰相挑者。有以口舌遊說者。有一夜下四、五城者。太平樂事也。

藝文志

史林殘花

遊藝堂

細見圖 一日不可無此書焉。不出戶牖而

知天下文可徵矣。

評判書 多則益多。真偽難辨。不足採之。盡

信書則不如無書。唯取二三策而已矣。

祭文 一卷。竹田所著也。有腹者世界之志

山。胎者客衆之玩物之句。膾炙人口。

俗方言三卷 不記何人之作。略揚其一。二

妓年高者曰年增。妓富者曰新造。舟

新成者稱新造。蓋擬之乎。買妓者曰客。客

耐久者曰馴。漆馴漆之客曰深間。深切之

客曰思別。非常之人。別有深切之思也。從

妓州女曰禿。老婆曰遣手。國俗凡稱講事

為遣繰老婆有遣繰之手段也。客智者曰
 通者又曰水水者以無不通也。客愚者曰
 屋幕不知戶外之事也。稱富客曰大人。稱
 貧客曰無伽羅。又曰祐成伽羅者棋捕香
 也。豪富席上之珍不落貧賤之手也。祐成
 者曾我氏之子。十郎之諱也。十郎貧窶而

買妓虎故稱之乎。金銀曰花。又曰露。相恨
 相妬曰口舌交戰曰茶。今又曰膽註說繁
 穴不可強解。闕疑而可也。進酒曰構。曰碑
 曰間。妓不得相逢曰障。相別曰去來兮。客
 呼妓曰敵。妓呼客曰方樣。妓始薦寢曰水
 上撥耕錄所謂上頭之類也。兩向相遣曰

笑林殘花

遊戯堂

太鼓一
作大壺

裏蓋表裏之謂乎。買妓曰揚妓。自出金銀
以身揚妓。入揚屋町曰道中。紅靴窄。陸
地生金蓮。可見可愛。遇客之間。又別遇客
曰。博妓。自稱曰女。膽不相交。戰曰。振。妓能
從客所命。曰。迴。妓欺客。曰。懸。客欺妓。曰。手
練。食客從大人者。曰。太鼓。又曰。御。查。客零。

土 遊盛堂

落喪身者。曰。打。鉦。國俗有池魚災。則打太
鼓。火滅。則打鉦。客初若火之始。然終零落
如火之已滅。

○律曆志

琴材用燒桐。譜有十二。三。三。味。線。材。用紫檀。
黑檀。唐桑。花。祭之類。有二。上之調子。琴三。

史林殘花

遊盛堂

味線雖並行彈琴者阡陌之什一也。味線者雖五尺之禿無不知之。禮樂之盛行文物之全備風不在成周之下矣。

太古之音也。陽春白雪之歌和者。寄難異國山吹之後不得其人。雖起緜駒於今日不能容易開口。惜哉其統既泯矣。

三嗟曲 幽尙無聊之音也。昔葛城困於道

順而所作也。

踏踏曲 抑揚太過惜哉衰而傷矣。

起行兮曲 有東之白兮最早老婆飲茶時

之亂三歲嬰兒能知誦之。

童歌五闋 日本國大儒 但馬先生之所作

有古詩八卷 史林殘花

遊麿堂

也。是亦勸懲之一端也。其小序曰春昏晚
 矣。花飛紛。獨坐小齋。對卷泰然。外廳有
 一幼孫之高歌曰。游女兮游女。盍少自嗜
 兮。內無復關復關者謂男子所慕者何様兮
 惡生兮惡生。坊様兮坊様。盍少自嗜兮。內
 無敲鐘者耶。何様兮。惡生兮。惡生。傍有老

學戲之曰。學生兮學生。盍少自嗜兮。內無
 明德者耶。何様兮。惡生兮。惡生。余隔壁聞
 之笑曰。里巷謠謠之鄙。亦有所可取之乎。
 斯言嫌外省內捨變守常閑邪存誠者。果
 夫不取之乎。戲作童歌五闋。
 其一。遊客兮遊客。豈其勞外索兮。盍少自嗜

史林殘花

遊園堂

而貞兮タカシク。内無園庭花竹者耶ウチニクニシキハナツクモナカ。何様兮ナニノヤウ。吁嗟アハハ。有生兮キウアル。有生キウアル。

其二。巧言兮ウツクシク。巧言ウツクシク。豈其ナニシテ求外モトメテ援兮タカシク。益少タカシク自嗜タカシク。

而誠兮マコトニ。内無聖經賢傳者耶ウチニキョウキョウケンブモナカ。何様兮ナニノヤウ。吁嗟アハハ。

有生兮キウアル。有生キウアル。

其三。貪夫兮クソクニ。貪夫クソクニ。豈其ナニシテ願外カガハハカニ需兮モトメテ。益少タカシク自嗜タカシク。

而清兮キヨクニ。内無精金美玉者耶ウチニセイキンミョクモナカ。何様兮ナニノヤウ。吁嗟アハハ。

有生兮キウアル。有生キウアル。

其四。碌兮ロクニ。碌兮ロクニ。豈其ナニシテ干外タガハハカニ祿兮モトメテ。益少タカシク自嗜タカシク。

而精兮クニシク。内無書中千鍾者耶ウチニキョウニシクモナカ。何様兮ナニノヤウ。吁嗟アハハ。

有生兮キウアル。有生キウアル。

其五。俚俗兮レイソクニ。俚俗レイソクニ。豈其ナニシテ從外タガハハカニ慙兮モトメテ。益少タカシク自嗜タカシク。

史林殘花

遊虛堂

而明兮。内無本分之性者耶。何様兮。行嗟
有生兮。有生。

司天坊月令曰。朔望十八日。正月者。自雞日

至八日。十四日。十五日。廿日。二月有初午。

三月。上巳。及十五日。梅若麻呂之。四月。更

衣。有名而無實。猶著紫衣。五月。端午。七月。

七夕。盆。八月。朔。十五夜。此夜籠菓子。飾杯

盤。且贈小原盃於客。盃中書艷詩者多矣。

九月。重陽。十三夜。十月。亥子。廿日。十一月。

十五日。十二月。煤掃。餅春。白之紋。日。端午。

七夕。八朝。雖炎熱之酷。不用細葛。著白木。

寒暑不同。氣候不齊之地也。

史林殘花

在哉

品川 千住 板橋 護國寺 新宿 是

五等之諸侯附庸之國也。按此是地理志之支而錯亂在

律曆志之中乎。姑舍之。以族好古之人而已。

有高雄薄雲濃紫本紀僅存題目而已其餘

本紀有數卷不分名目況於片言一句乎。

嗚呼可惜之甚也有花鳥玉川唐島若紫

逢坂音羽江口凡帳薰世家存名目而已。

幸得關井世家一卷數十卷之中得見此

一卷幸中之一大幸也。有明石和國三芳

西尾梅枝入江明月等列傳數十卷之間

存此題目而已。

關井世家第二十一卷此篇初擬項籍世

史林殘花

遊虞堂

良傳文勢。或讀之者。按史而可也。

關井名藤子山口人也。容貌秀麗。神仙中人。初從其姊逢坂。學三味線。不成去。學書。又不成去。書足以記姓名而已。願按歌曲。玉音婉轉。使聽者消魂斷腸。其為人如實不實。如虛不虛。放蕩不羈。若不繫舟。以色論之。則

能得音羽。若紫之骨髓。以體格風致論之。則不得濃紫之皮毛。音羽若紫。以美色施譽於天下。若夫色與風致全備。則天下之名妓無出其右者耶。物不兩全。果天乎。關嘗為禿時。此下疑是。從容至關所。關愕然欲逃之。客出一編書曰。讀此則為全盛妓矣。後三年見我。

町南海老峰下大人即我矣遂去無他言不復見視其書乃白樂天長恨歌也古白妓譜增其其明年秋開為妓三年果遇一客於海老峰即海老機緣俱熟一見如故客好酒開亦然也相遇則相對酌相對歌共醉共倒而止矣客者忘歸開亦忘我後從玉川子以七

碗之茶碗酒乘此清風登仙去不知其終屋和川嗜酒大人公曰開也乎非人間之種呼茶碗飲酒作謫仙人而可也矣蓬島雲遠一舉登仙初逢異客抑是亦神人乎將杜牧之後身乎綠樹成陰子味滿枝嗚呼奇遇哉果是天授也述讚曰

史林殘花

遊廬堂

開乎麗質

睹者欲狂

眉如楊柳

睡則海棠

貴妃掩面

飛燕愧粧

美人

在天一方

史林殘花畢

漢宮打... 美人... 史林殘花畢... 今世世の揚柳... 美人... 史林殘花畢... 今世世の揚柳... 美人... 史林殘花畢...

南花餘芳
 南男也
 音假用
 嗣出

高砂や
 白のり方

龍田
 原方ま方



南花餘芳

南男也
音假用
嗣出

○大夫下
 □大夫下
 △小夫下

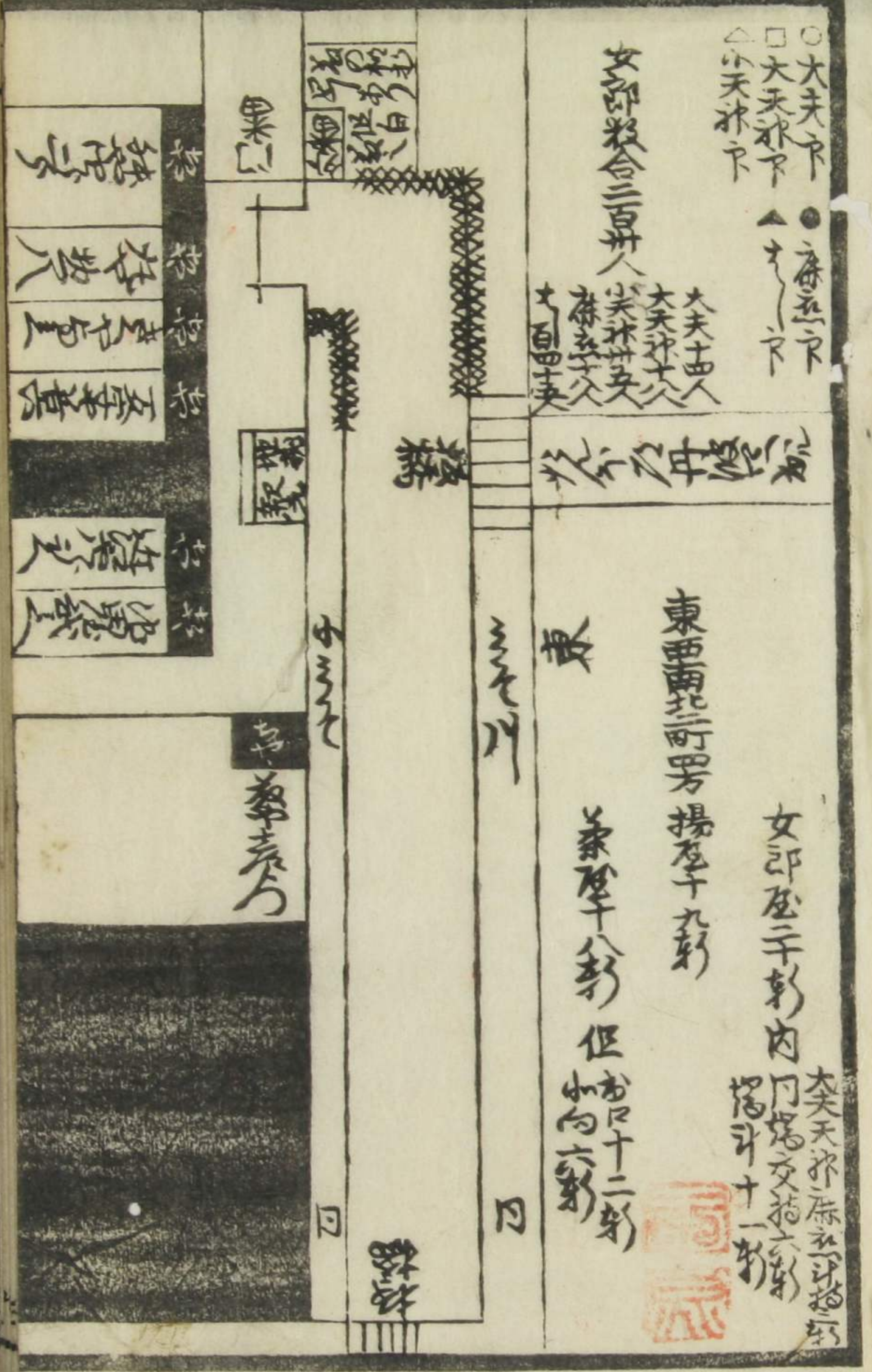
女部殺合三百人
 大夫五人
 大夫十人
 大夫十人
 大夫十人
 大夫十人

東國前男揚子九彩

東國前男揚子九彩

女部在千彩内
 大夫十人
 大夫十人

兼厚千彩但
 小向六彩



新會

大文字文信
尺八原庄
橋本庄
出級友子
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信
大文字信
大文字信
大文字信

舟

大文字信
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信
小文字信

節

大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信

舟

大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信

新會

大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信

舟

大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信

中

大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信

節

大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信
大文字信

舟

江戸町一町目中之町ヨリ入左側



井

なまやまのり内

井多の家 井みいろ
井多の行 井清子
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら

井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら



大津屋

大津やぶら内

井多の家 井みいろ
井多の行 井清子
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら

井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら



井

かつまのり内

井多の家 井みいろ
井多の行 井清子
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら

井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら



二

あつまのり内

井多の家 井みいろ
井多の行 井清子
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら

井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら

二

あつまのり内

井多の家 井みいろ
井多の行 井清子
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら

井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら

二

あつまのり内

井多の家 井みいろ
井多の行 井清子
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら

井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら
井多のまら 井多のまら



商人

松本



商人

二 窮

横山 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

二 窮

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

二 窮

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

二 窮

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

二 窮

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

松本 志村 内

江戸町二丁目中之町入右側

二 窮

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

二 窮

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

二 窮

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

二 窮

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

二 窮

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

二 窮

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内



二 窮

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内

小松 志村 内



平野屋

松屋

平

平

平野屋平丸内

松屋平丸内

平丸内

平丸内

山の井

松屋平丸内

平丸内

平丸内

平野屋平丸内

松屋平丸内

平丸内

平丸内



大田

尾張

松屋

森川

大田森丸内

尾張森丸内

松屋森丸内

森川森丸内

大田森丸内

尾張森丸内

松屋森丸内

森川森丸内

大田森丸内

尾張森丸内

松屋森丸内

森川森丸内

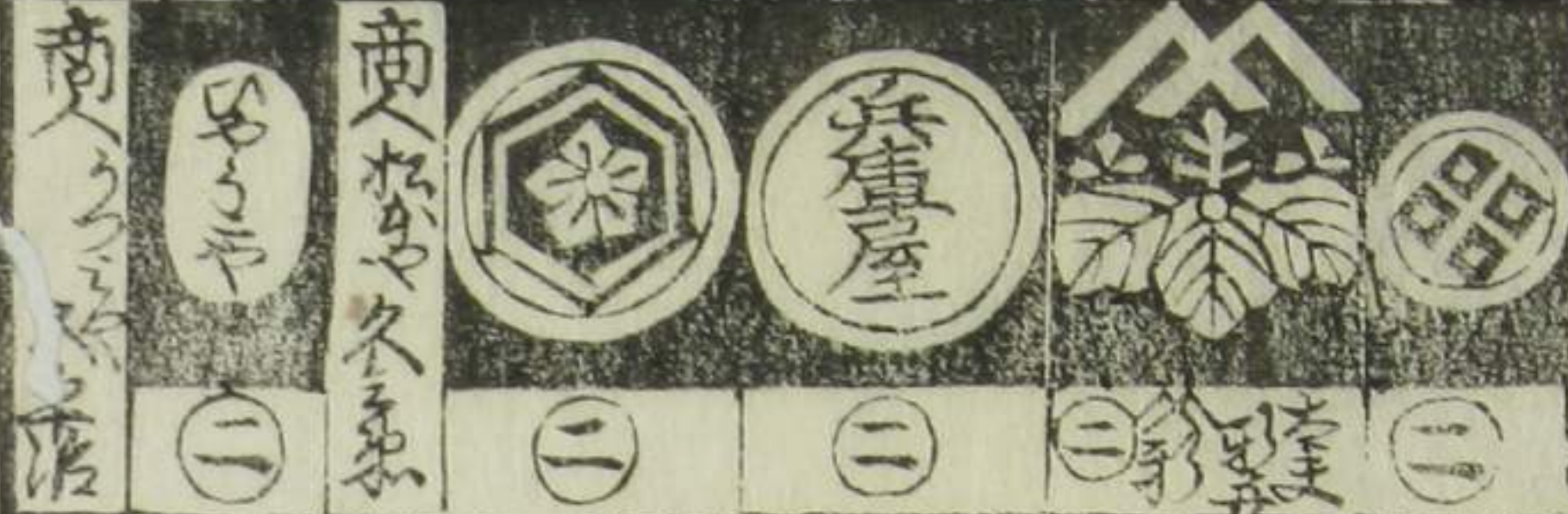
商人

商人

商人

江戸二丁目中之町入左例

この本は...



<p>二</p> <p>ひやうごや仁左内</p> <p>ひやうごや仁左内</p>	<p>二</p> <p>さくらや七内</p> <p>さくらや七内</p>	<p>二</p> <p>つるや七内</p> <p>つるや七内</p>	<p>二</p> <p>とんや仁左内</p> <p>とんや仁左内</p>	<p>二</p> <p>つるや七内</p> <p>つるや七内</p>	<p>二</p> <p>さくらや七内</p> <p>さくらや七内</p>	<p>二</p> <p>とんや仁左内</p> <p>とんや仁左内</p>	<p>二</p> <p>つるや七内</p> <p>つるや七内</p>
--	--------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------



<p>二</p> <p>とんや仁左内</p> <p>とんや仁左内</p>	<p>二</p> <p>つるや七内</p> <p>つるや七内</p>	<p>二</p> <p>さくらや七内</p> <p>さくらや七内</p>	<p>二</p> <p>とんや仁左内</p> <p>とんや仁左内</p>
--------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------



おきほり



商人の志



商



二 地

家鬼をたら月
△たがま △岩み
△まやちや傍り

△かき △くろ山 △いざさ △ちかみ △たうせ △ともあ △きしは △おの川

二 泉

はのやなを泉
△たがま △ひく △たどま △おの村 △おの

△あふさ △うの △たどま △おの村 △おの △た村さ △さかま △そのま △あふさ △おの

二 谷

ふきのやを谷
△今野 △山 △やま △おの △おの

△れ竹 △あふさ △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの

二 山

このやを山
△おの △おの △おの △おの △おの

△おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの

角町中之町ヨリ入右例



二 山

角山にやを山
△たがま △おの △おの △おの △おの

△おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの

二 山

はのやを山
△たがま △おの △おの △おの △おの

△おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの

二 山

はのやを山
△たがま △おの △おの △おの △おの

△おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの

二 山

はのやを山
△たがま △おの △おの △おの △おの

△おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの △おの

商人中... 大塚や八...



二 大塚

大塚や八... 大塚や八...



二 大塚

大塚や八... 大塚や八... 大塚や八... 大塚や八... 大塚や八...

角町中之町ヨリ入ル方例



二 角



二 角



二 角



二 角

角町中之町ヨリ入ル方例... 角町中之町ヨリ入ル方例... 角町中之町ヨリ入ル方例...

商人合す

うしやう



商人合す



二 地

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

二 余

中 中 中

中 中 中

中 中 中

中 中 中

中 中 中

二 余

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

二 二

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

商人合す

商人合す



商人合す

二 地

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

二 余

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

二 余

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也

徳也 徳也 徳也



Table of entries for the right page, organized into columns. Headers include '三浦源治所内', '三浦', '長崎', and '三浦'. The table lists various locations and names in vertical Japanese characters.

わのや



Table of entries for the left page, organized into columns. Headers include 'わのや', '和泉屋', '相公', and '加賀屋'. The table lists various locations and names in vertical Japanese characters.



九



龍



あしや

寛正

二 第 柳野や影宿内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 九や仁匠内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 九や老老内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 九や仁匠内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 九や老老内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 九や仁匠内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

宋

二 第 山やめちる内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 六巴や老老内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 六巴や老老内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 六巴や老老内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 六巴や老老内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 六巴や老老内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

寛正

二 第 六巴や老老内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 六巴や老老内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 六巴や老老内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

二 第 六巴や老老内 八つらぶら 又の山 三つらぶら 五つらぶら 八つらぶら 松をう

京町二丁目中之町入道例

商人三のや合三のいせやねんといふ有るをて 三つがや海三つがやのり

山城

山城や九多内内
あまのいあふ赤
たがまい合志史
あけりさるね

やむせ 忍めん 忍がり
さめ山 つまざう
小日さ いちの

巴

巴むーやあ内
あはらう
あまふ
あまふ

いづて いざさ
あしあ うり
あしあ 清川
あまふ つーま

長

長
あまふ
あまふ
あまふ

あまふ せいざん
あまふ としん浦
あまふ あまふ
あまふ やまふ

加賀屋

商人 大徳やま

かやあ内
あまふ
あまふ
あまふ

あまふ ちんてり
あまふ やまふ
あまふ やまふ

大黒屋

大黒屋
あまふ
あまふ
あまふ

あまふ ちんてり
あまふ やまふ
あまふ やまふ

加賀

商人 大徳やま

加賀
あまふ
あまふ
あまふ

あまふ ちんてり
あまふ やまふ
あまふ やまふ

越前

越前

越前守 越前守 越前守 越前守 越前守 越前守 越前守 越前守 越前守 越前守

商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人

越前守 越前守 越前守 越前守 越前守 越前守 越前守 越前守 越前守 越前守

伏見町中之町ヨリ入上左例

商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人

伏見町中之町ヨリ入上左例

商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人

伏見町中之町ヨリ入上左例

商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人

伏見町中之町ヨリ入上左例

商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人

伏見町中之町ヨリ入上左例

商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人

伏見町中之町ヨリ入上左例

商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人

伏見町中之町ヨリ入上左例

商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人

伏見町中之町ヨリ入上左例

商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人 商人

伏見町中之町ヨリ入上左例

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

西三丁の各名をここに記す

うら

西三丁
空行院

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

三浦

二

三浦やまのり

三浦やまのり
三浦やまのり
三浦やまのり

日本堤

田町

十

日本堤 田町

大門口岩所之夜四ツ附ヨリヨリ公入

門前ヨリ

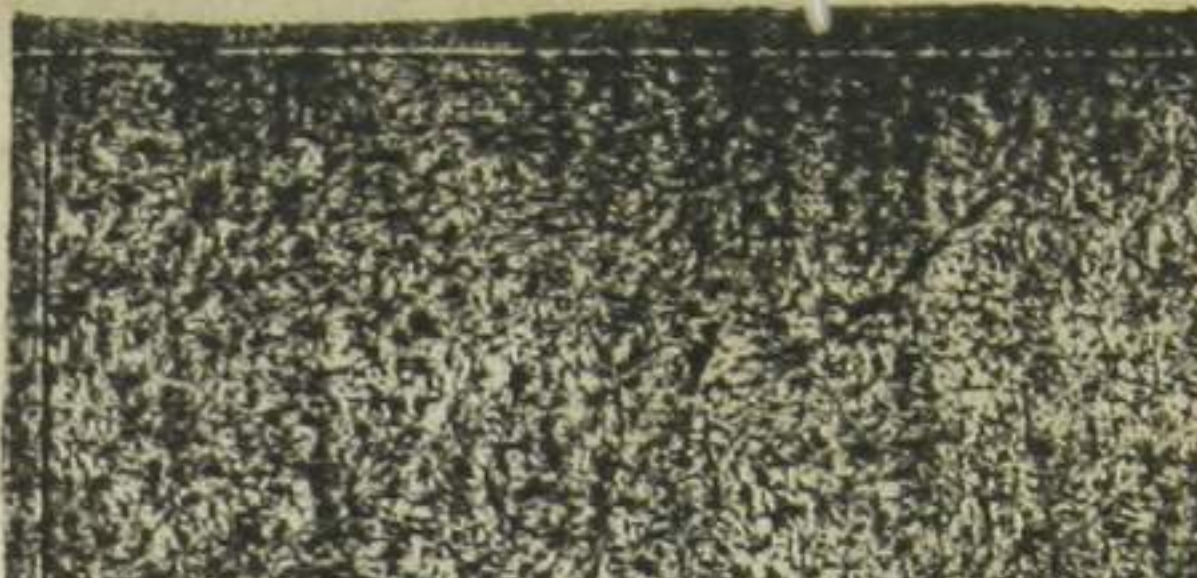
五花
大
三
中
左
右
...

五花	大	三	中	左	右
...

...

...

...
...
...



江戸町三丁目

商人

...
...
...

...
...

...

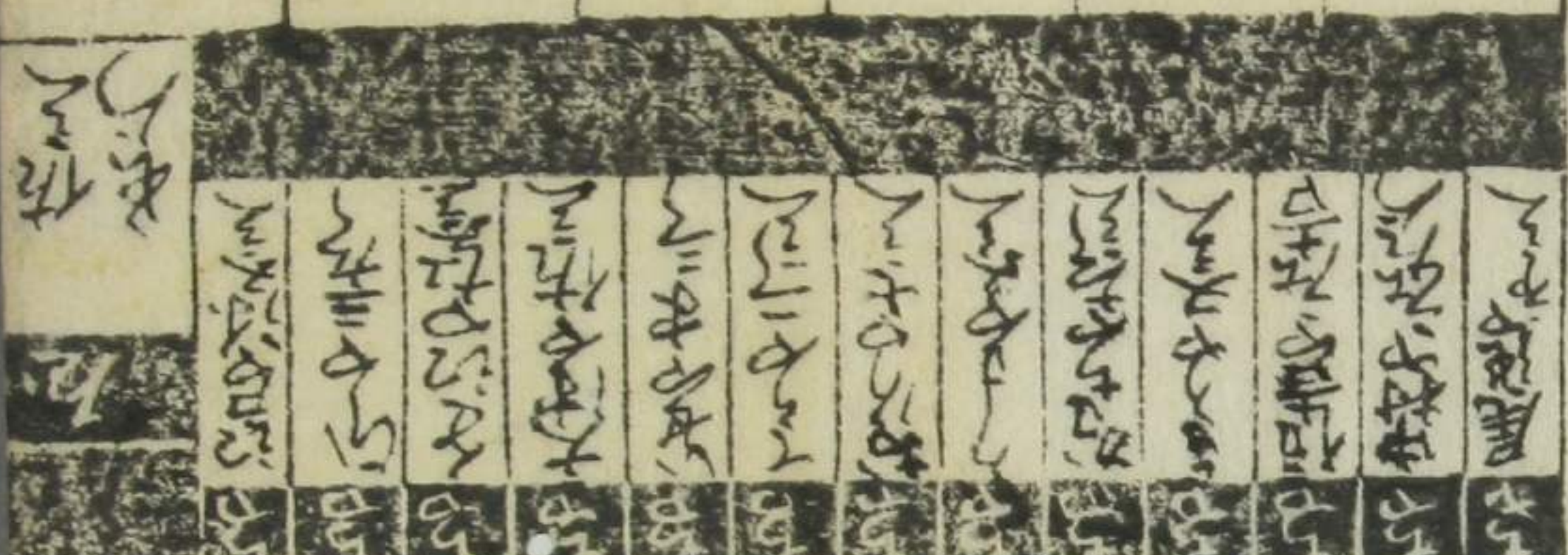
...
...

目下二町

巴登係り内

...
...
...

...
...



怪舟宿今マコ橋ヨリさんマアツリノテ

いさるおさう	交花や劫之	下りの侍之	市川や平八	り外や八方	松井や春之	いづか並四
やまやう	さうりや介さう	のりや侍之	山本や源次	三川や徳之	おきや春之	三余や源之
ちかや介方	あまの事なる	おらこや侍之	おまきや七方	このや侍之	松坂や源之	三郎や春之
つる口之	ひやうや中又	おらこや侍之	汁や小舟	おらや侍之	うらや侍之	ますや侍之
万の口之	おまきや侍之	おらこや侍之	大坂や侍之	おらや侍之	このや侍之	うらや侍之
おらや侍之	おまきや侍之	おらこや侍之	おらや侍之	おらや侍之	このや侍之	うらや侍之
大坂や侍之	おまきや侍之	おらこや侍之	おらや侍之	おらや侍之	このや侍之	うらや侍之
いさるおさう	おまきや侍之	おらこや侍之	おらや侍之	おらや侍之	このや侍之	うらや侍之

えんや侍之 ちかや侍之 大くや侍之 さんさる侍之 坂本や侍之
 月舟侍之 房かや侍之 さまさる侍之 したまや侍之
 橋ヨリ小橋 おまきや侍之 つる源次 小舟や侍之 山本や侍之 八方や侍之
 坂本や侍之 志まきや侍之 さうりや侍之 ぶらや侍之 三郎や侍之
 うらや侍之 志まきや侍之 ねや侍之 かつらや侍之 三郎や侍之
 つらや侍之 志まきや侍之 おまきや侍之 さうりや侍之 三郎や侍之 山本や侍之
 小もの侍之 志まきや侍之 ねや侍之 かつらや侍之 三郎や侍之 山本や侍之
 志まきや侍之 ねや侍之 かつらや侍之 三郎や侍之 山本や侍之
 つらや侍之 志まきや侍之 ねや侍之 かつらや侍之 三郎や侍之 山本や侍之

新刻改正
 遊戯堂梓

おらや侍之

